

**赤十字看護専門学校における  
学校評価ガイドライン**  
(平成 27 年改訂)

平成 27 年 3 月

日本赤十字社 事業局

看護部 看護管理・教育課

## 目次

はじめに.....	1
1 赤十字看護専門学校における学校評価の意義.....	2
2 学校評価に係る行政の動向.....	2
3 赤十字看護専門学校における学校評価導入と改訂までの経緯.....	3
4 日本赤十字社における学校評価について.....	5
1) 「学校評価」の種類.....	5
2) 学校評価における評価の定義・運営方法.....	5
5 『日本赤十字社学校評価ガイドライン』の改訂.....	7
1) 赤十字看護専門学校の特色について.....	7
2) 領域の構造.....	7
3) 評価基準の検討.....	7
4) 評価方法の検討.....	8
5) 小項目の評価指標体系の構築.....	8
6 学校評価の結果と改善方策の公表.....	9
1) 広く・わかりやすい内容で公表する.....	9
2) 改善方策の公表.....	9
7 設置者への報告と支援・改善について.....	10
1) 設置者による支援・改善.....	10
2) 設置者の積極的参画.....	10
おわりに.....	10

資料1 赤十字看護専門学校 学校評価基準

## 教育課題に関する検討会メンバー

平成 25 年度

### 【委員】

日本赤十字社事業局 看護部	看護部長	小森 和子 (委員長)
さいたま赤十字看護専門学校	副学校長	阿部 妙子
成田赤十字看護専門学校	副学校長	横田 栄子
京都第二赤十字看護専門学校	副学校長	田中 千代美
和歌山赤十字看護専門学校	副学校長	高岸 壽美
松山赤十字看護専門学校	副学校長	渡邊 八重子
日本赤十字社助産師学校	副学校長	近藤 良子

### 【事務局】

日本赤十字社事業局看護部		
看護部看護管理・教育課	課長	二宮 加恵美
同課	教育係長	林 容子
同課	主事	遠藤 卓

平成 26 年度

### 【委員】

日本赤十字社事業局 看護部	看護部長	小森 和子 (委員長)
石巻赤十字看護専門学校	副学校長	森岡 薫
成田赤十字看護専門学校	副学校長	横田 栄子
姫路赤十字看護専門学校	副学校長	柳 めぐみ
和歌山赤十字看護専門学校	副学校長	高岸 壽美
松山赤十字看護専門学校	副学校長	渡邊 八重子
日本赤十字社助産師学校	副学校長	近藤 良子

### 【事務局】

日本赤十字社事業局看護部		
看護部看護管理・教育課	課長	二宮 加恵美
同課	教育係長	小越 佐知子
同課	主事	松田 直美
幹部看護師研修センター	専任教師	堀内 弘子

赤十字看護専門学校における学校評価ガイドライン

平成 27 年 3 月発行

編 集 日本赤十字社事業局看護部

発行者 日本赤十字社事業局看護部

〒105-8521

東京都港区芝大門 1 丁目 1-3

TEL 03-3437-7518

FAX 03-3438-1339

## はじめに

日本赤十字社事業局看護部においては、平成 23 年 12 月に『日本赤十字社学校評価ガイドライン』を策定し、学校評価に取り組んできた。

平成 25 年 3 月には、専修学校における学校評価を通じた組織的・継続的な教育活動等の改善を目的に、「専修学校における学校評価ガイドライン」が、文部科学省から通知された。また、同年 6 月には特定非営利活動法人 私立専門学校等評価研究機構が、上記ガイドラインに準じて「専門学校等評価基準書－Ver4.0－」を策定した。

これらを受けて、今般、『日本赤十字社学校評価ガイドライン』を改訂、併せてガイドラインの名称を変更した『赤十字看護専門学校における学校評価ガイドライン<sup>1</sup>（平成 27 年改訂）』を策定した。

今後は、本ガイドラインに基づき、教育施設に求められる学校運営について多面的に評価し公表することで、赤十字看護専門学校としてよりよい学校運営が追求できることを期待する。

---

<sup>1</sup> 日本赤十字社助産師学校においては、助産師教育に特化する内容については置き換えて評価する。

## 1 赤十字看護専門学校における学校評価の意義

赤十字看護専門学校では、赤十字の基本原則である人道に基づき、看護の分野において社会の要請に応え得る、豊かな人間性と看護に関する幅広い能力を兼ね備えた看護の実践者を育成することを目指している。

赤十字の教育理念・教育目的に基づき、教育活動や学校運営についての目標を設定し、達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等について評価・公表することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ることは、教育の質の保証・向上につながる。また、学校評価結果を公表・説明することは学校の責務であり、公表することにより、関係者との共通理解を図り、教育に対する支援や連携・協力を促進することが期待される。

## 2 学校評価に係る行政の動向（表1参照）

平成14年4月に「専修学校設置基準の一部を改正する省令」（平成14年3月29日文科科学省令第18号）が施行され、看護専門学校についても教育活動等の状況に関する評価を自ら行い、その結果を公表することが努力義務化された。

平成15年7月にとりまとめられた「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針作成検討会報告書」（厚生労働省）においては、看護師等養成所における自己点検・自己評価が教育評価の一環として位置づけられた。

平成18年3月には、主に市区町村立の義務教育諸学校を対象に「義務教育諸学校における学校評価ガイドライン」（文科科学省）が策定された。

さらなる学校評価の推進を図るため、平成19年6月に学校教育法、同年10月に学校教育法施行規則の改正により、自己評価・学校関係者評価の実施・公表、評価結果の設置者への報告に関する規定が新たに設けられた。

これを受けて平成20年には、「義務教育諸学校における学校評価ガイドライン」（文科科学省）について、新たな法令の規定及び文科科学省初等中等教育局に置かれた「学校評価の推進に関する調査研究協力者会議」における有識者の議論に基づき、「学校評価ガイドライン」として改訂された。

平成22年には、文科科学省初等中等教育局に設置された「学校の第三者評価のガイドラインの策定等に関する調査研究協力者会議」における議論を踏まえ、学校の第三者評価の在り方に関する記述を充実させた「学校評価ガイドライン〔平成22年改訂〕」（文科科学省）が策定された。

平成23年には「看護師等養成所の運営に関する指導要領」の改正（「看護師等養成所の運営に関する指導要領について」（平成23年3月29日付医政発0329第9号厚生労働省医政局帳通知））により、「養成所は、教育活動その他の養成所の運営状況について、自ら評価

を行ない、その結果を公表すること」とされ、看護教育制度上においても自己評価及び公表の義務が明記された。

平成 24 年 3 月の文部科学省委託事業「専修学校の質保証・向上に資する取り組みの実態に関する調査研究」により得られた結果では、学校評価、情報公開ともに十分な取り組みが進められておらず、様々な課題が確認された。これらの状況をふまえ、平成 24 年 4 月に文部科学省生涯学習政策局に「専修学校における質保証・向上に関する調査研究協力者会議」が設置され、現状、課題及び今後の方向性等について審議が重ねられ、平成 25 年 3 月に専修学校の質保証・向上を目指すものとして、「専修学校における学校評価ガイドライン」（文部科学省）が策定された。

### 3 赤十字看護専門学校における学校評価導入と改訂までの経緯（表 1 参照）

平成 14 年 4 月に「専修学校設置基準の一部を改正する省令」が施行され、専修学校の教育活動等の状況に関する自己評価の実施と結果の公表が努力義務化、平成 15 年 7 月には厚生労働省において「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針作成検討会」報告書がとりまとめられた。

これを受け、日本赤十字社事業局看護部では、平成 19 年 3 月に「赤十字看護専門学校の評価に関する検討会」報告書（以下「報告書」という。）において、学校の自己点検・自己評価の指針を示し、その実施と公表を推進してきた。

平成 22 年には、「学校評価ガイドライン〔平成 22 年改訂〕」（文部科学省）が策定され、平成 23 年には、「看護師等養成所の運営に関する指導要領」の改正がなされ、看護教育制度上においても、学校評価の実施が義務付けられた。これらを受けて、日本赤十字社事業局看護部においても、「報告書」の見直しを行い、平成 23 年 12 月に『日本赤十字社学校評価ガイドライン』を策定し、今日まで学校評価に取り組んでいる。

また、平成 25 年 3 月、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」が公表され、日本赤十字社事業局看護部では、平成 25 年度の教育課題に関する検討会で現行の学校評価についての意見交換、「専修学校における学校評価ガイドライン」について学習会を開催した。続いて、平成 26 年度の教育課題に関する検討会においては、文部科学省の「専修学校における学校評価ガイドライン〔平成 22 年改訂〕」に準じ、また、「専門学校等評価基準書－Ver4.0－」（平成 25 年 6 月特定非営利活動法人 私立専門学校等評価研究機構）を参考にしつつ、『赤十字看護専門学校における学校評価ガイドライン（平成 27 年改訂）』の策定に取り組んだ。

表1 学校評価に係る行政と日本赤十字社の動向

	行政	日本赤十字社
平成 14 年 4 月	「専修学校設置基準の一部を改正する省令」 (文部科学省) *教育活動等の状況の自己評価の実施・結果の公表 (努力義務化)	
平成 15 年 7 月	「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針作成検討会報告書」 (厚生労働省)	「赤十字看護専門学校の評価に関する検討会」設置 (事業局 看護部)
平成 18 年 3 月	「義務教育諸学校における学校評価ガイドライン」策定 <sup>2</sup> (文部科学省)	
平成 19 年 6 月 10 月 平成 19 年 11 月	「学校教育法」一部改正 「学校教育法施行規則」一部改正 「学校評価に係る学校教育法施行規則等の一部を改正する省令」 *平成 22 年度中に ・自己評価の実施及び結果の公表 (義務化) ・学校関係者評価の実施・公表 (努力義務化) (文部科学省)	3 月 上記検討会報告書 (評価指針のとりまとめ)   自己点検・自己評価実施
平成 20 年 1 月	「学校評価ガイドライン」として改訂 (文部科学省)	
平成 22 年 7 月	「学校評価ガイドライン〔平成 22 年改訂〕」 (文部科学省)	
平成 23 年 3 月	「看護師等養成所の運営に関する指導要領」の改正 (厚生労働省) *養成所は、教育活動その他の養成所の運営状況を自ら評価を行い、その結果を公表すること (看護教育制度においても義務化)	「日本赤十字社 学校評価ガイドライン」策定 (事業局 看護部)

2 初版は平成 18 年 3 月 27 日策定。平成 22 年 7 月 20 日に「学校評価ガイドライン (平成 22 年改訂)」を配布

平成 25 年 3 月	「専修学校における学校評価ガイドライン」策定（厚生労働省）	教育課題に関する検討会で現行の学校評価について意見交換
平成 27 年 3 月		「赤十字看護専門学校における学校評価ガイドライン（平成 27 年改訂）」策定

#### 4 日本赤十字社における学校評価について

##### 1) 「学校評価」の種類（図1参照）

学校評価とは、①各学校の教職員が、当該学校の理念・目標に照らして自らの教育活動について行う「自己評価」、②保護者、地域住民等の学校関係者などにより構成された評価委員会等が、自己評価の結果について評価することを基本として行う評価「学校関係者評価」、③学校とその設置者が実施者となり、学校運営に関する外部専門家を中心とした評価者により、自己評価、学校関係者評価をふまえつつ行なう「第三者評価」から成る。

##### 2) 学校評価における評価の定義・運営方法（表2参照）

日本赤十字社事業局看護部の学校評価の改訂にあたっては、既存の評価システムと、文部科学省の「専修学校における学校評価ガイドライン」における学校評価の種類との関係を含め、定義と運営方法を整理した。

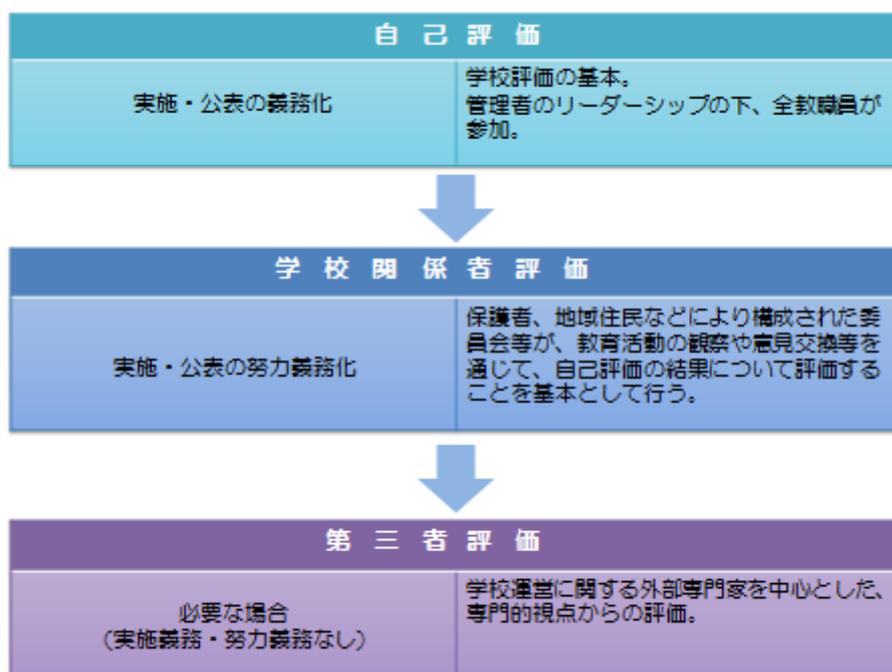


図1 学校評価の種類

表2 赤十字看護専門学校での学校評価の定義・運営方法

	自己評価	学校関係者評価	第三者評価
評価実施者	<p>・全教職員 うち、以下の者は必須参加とする。</p> <p>学校長 副学校長 事務部長 教務主任 専任教師 事務職員</p>	<p>・学生保護者、地域住民、臨地 実習施設職員、大学等の教職員、 警察など うち、学生保護者は、必須参加とする。</p>	<p>・専修学校における第三者評価への取り組みについては、制度化されていない。しかし、実践的な職業教育を目的とする専修学校の特性を踏まえ、関連業界等との連携により、学校運営に係る外部の専門家による独立性の高い評価活動を促していくことが必要である。</p> <p>原則として、学校と設置病院が実施主体となり、「希望する場合」に実施する。 実施体制については、実情に応じて柔軟に対応する。</p> <p>&lt;例&gt; (1)学校関係者評価に、「学校運営に関する外部専門家」を参画させる (2)地域近隣の教育施設<sup>※1</sup>と協力し、第三者評価として相互評価を行なう。</p>
留意点	<p>・全教職員中、評価への参加を免除できる職員は以下とする。</p> <p>(1)校医 (2)講師 (内部・外部) 但し、(1)(2)の者については、講師会議で評価への参画を</p>	<p>・日本赤十字社看護専門学校規程第11条及び、日本赤十字社看護専門学校学則準則第38条により開催される「学校運営会議」は、学校長、副学校長、教務主任、事務部長、学校を置く医療施設の看護部長及び学校を設ける支部の事務局長、その他、学校長が必要と認める者をもって、学校長が定時及び臨時に招集し、運営するものである。</p>	<p>・上記の※1については、第三者の意味を鑑み、赤十字看護専門学校(日本赤十字社助産師学校・赤十字看護大学・短期大学を含む)以外の施設とする。</p>

	<p>促し、評価過程に意見を反映させること。</p>	<p>よって、赤十字看護専門学校においては、新規に学校関係者評価委員会を設置することは必須ではなく、学校運営会議（の一部）に、学校関係者評価実施に必要な者を加えて実施することで、これに代えることができる。</p>	
--	----------------------------	--	--

## 5 『日本赤十字社学校評価ガイドライン』の改訂

### 1) 赤十字看護専門学校の特色について

#### (1) 領域 11 として「国際的視点」を設定

改訂の参考にした「専門学校等評価基準書－Ver4.0－」では、「基準 10 社会貢献・地域貢献」の小項目として「国際交流」が位置づけられていた。

赤十字看護専門学校の学生は、将来、赤十字看護師・助産師として国の内外で活動する機会があることから、国際的視野を広げるための教育は必須である。そのため、「国際的視点」として領域 11 の大項目を新たに設定した。

#### (2) 領域 3 「教育活動」の中項目に「臨地実習」を設定

赤十字看護専門学校において専門職業人を育てる上で、知識や技術等を統合し、看護の実践を学ぶ場である臨地実習は、重要な位置を占める。そのため、「領域 3 教育活動」の中項目として「臨地実習」を新たに設定した。

### 2) 領域の構造 (図 1 参照)

領域 1 から領域 11 の大項目の内容をふまえ、その構造を明らかにした。

### 3) 評価基準の検討 (表 2 参照)

文部科学省の「専修学校における学校評価ガイドライン」に準じて、私立専門学校等評価研究機構が改訂した「専門学校等評価基準書－Ver4.0－」の評価基準は、基準 1 から基準 10 の大項目、37 の中項目、65 の小項目で構成されている。

そこで、「専門学校等評価基準書－Ver4.0－」を参考にしつつ、これまでの『日本赤十字社学校評価ガイドライン』について、以下の評価基準の検討を行った。

- ① 領域 1 から領域 11 の大項目と中項目・小項目の内容、評価の観点との整合性
- ② 評価の観点と評価指標の整合性
- ③ 赤十字の特色を加味した内容であるか
- ④ 文章表現・内容の妥当性
- ⑤ 項目数
- ⑥ 参考資料の検討および整理

最終的に、『赤十字看護専門学校における学校評価ガイドライン（平成 27 年改訂）』は、領域 1 から領域 11 の大項目、38 の中項目、64 の小項目で構成された。

#### 4) 評価方法の検討

この度の「専門学校等評価基準書－Ver4.0－」では、第三者評価を視野に入れた自己評価方法として、所定の様式に従って大項目および中項目ごとに評価内容を記述する方法を取り入れている。

一方、これまでの『日本赤十字社学校評価ガイドライン』では、中項目について、3 段階（当てはまる・やや当てはまる・当てはまらない）で評価し、I からIXの領域ごとに現状と方向性を述べていた。

そこで、評価方法について検討するにあたり、教育課題に関する検討会委員の所属する赤十字看護専門学校の専任教員にプレテストを実施し、評価方法等に対する意見を集約した。その結果、「その課題に取り組んだ成果が次の学校評価で確認できる」、「到達度がみえる評価方法がよい」等の理由により、4 段階（できている・まあまあできている・あまりできていない・できていない）で評価し、領域ごとに現状と方向性を述べることにした。

#### 5) 小項目の評価指標体系の構築

小項目の評価指標の体系は、学校における諸活動の目的、目標と範囲を具体的に提示する役割となる。PDC Aサイクルを効果的に機能させるために、小項目の評価指標を、①ストラクチャー（構造）、②プロセス（過程）、③アウトカム（結果）の視点で整理することにした。

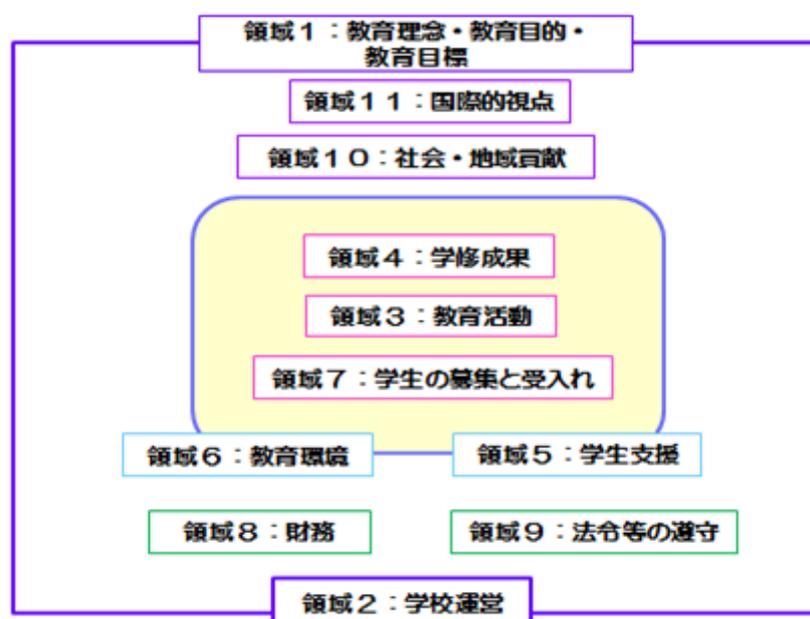


図1 『赤十字看護専門学校における学校評価ガイドライン（平成 27 年改訂）』の領域の構造

表2 評価基準の比較

専修学校における学校 評価ガイドライン 〔平成25年3月〕 文部科学省	専門学校等評価基準 -Ver4.0- 私立専門学校等評価研究 機構	日本赤十字社 学校評価ガイドライン (平成23年策定)	赤十字看護専門学校における 学校評価ガイドライン (平成27年改訂)
11領域	10領域	9領域	11領域
I 教育理念、目的、 人材育成像	1 教育理念・目的・ 育成人材像	I 教育理念・教育目的	1 教育理念・教育目的・ 教育目標
II 学校運営	2 学校運営	II 教育目標	2 学校運営
III 教育活動	3 教育活動	III 教育課程の経営	3 教育活動
IV 学修成果	4 学修成果	IV 教授・学習・ 評価過程	4 学修成果
V 生徒・学生支援	5 学生支援	V 経営・管理過程	5 学生支援
VI 教育環境	6 教育環境	VI 入学	6 教育環境
VII 生徒募集	7 学生の募集と受入れ	VII 卒業・就業・進学	7 学生の募集と受入れ
VIII 財務	8 財務	VIII 地域社会・ 国際交流	8 財務
IX 法令等の遵守	9 法令等の遵守	IX 研究	9 法令等の遵守
X 社会貢献・ 地域貢献	10 社会貢献・ 地域貢献		10 社会貢献・ 地域貢献
XI 国際交流			11 国際交流

## 6 学校評価の結果と改善方策の公表

### 1) 広く・わかりやすい内容で公表する

公表にあたっては、刊行物、ホームページ等への掲載などの方法により、広く社会に公表する。公表内容については、受け手として想定される対象に併せて適宜、公表する媒体、内容を工夫する。

### 2) 改善方策の公表

評価結果を公表する際には、「学校評価の結果」であることを明示し、併せて、結果をふまえた今後の改善方策について公表することで、学校運営がPDCAサイクルに則って健全に行われていることを示す。また、保護者・地域住民等への積極的な説明を行い、今後の取り組みに向けて理解と協力・支援が得られるようにする。

## 7 設置者への報告と支援・改善について

### 1) 設置者による支援・改善

- (1) 設置支部、設置病院においては、学校の評価結果を受け、それを踏まえた予算措置、人事配置など、学校に対する支援や条件整備等の改善を図る。
- (2) 設置支部、設置病院は、学校運営の改善に取り組みやすくするため、学校の裁量により執行できる予算の配置など工夫し、学校の自律性・自主性を高めるようにする。

### 2) 設置者の積極的参画

学校評価の実施にあたり、「自己評価」においては学校長、事務部長、「学校関係者評価」においては看護部長・支部事務局長が参画し、運営者あるいは設置者として、学校運営の改善が円滑に進むよう取り組む。

## おわりに

近年、看護系大学が急増する中、看護専門学校における看護基礎教育は、優秀な学生を確保し赤十字看護師として育成するという期待と、期待に応えるための多くの課題を有している。

このような状況の中、保護者、地域、関連業界等に学校評価結果を公表していくことは、社会からの信頼を得るだけでなく、課題やニーズ等を共有するとともに、課題解決のために連携し、その結果として広く社会に貢献できる人材の育成につながる。また、学校評価結果に基づき学校運営の改善を図り、それらを広く公表していくことは、健全な学校運営において重要なことである。

これらのことから学校管理者は、学校評価の意義・目的を教職員全体で理解するよう努め、赤十字看護専門学校としてのよりよい学校運営に向け、努力することを期待する。

赤十字看護専門学校  
学校評価基準



## 評価基準について

評価基準は、領域 1 から領域 11 までの大項目、38 の中項目、64 の小項目、評価の観点、評価指標で構成されている。(表 1 参照)

### 1. 各項目について

中項目は、大項目を構成する項目であり、第三者評価において基本となるものである。

小項目は、中項目を構成する項目であり、小項目ごとにつけられている「評価の観点」は、小項目の趣旨や背景を解説したものである。

評価指標は、小項目を構成し、自己評価及び第三者評価を円滑に効率的に行うためのものであり、ストラクチャー（構造）、プロセス（過程）、アウトカム（結果）の視点で整理している。

参考資料は、自己評価、第三者評価において、学校が取り組んでいる内容を確認する資料として、中項目ごとに例示している。

大項目は、小項目ごとに 4 段階評価し、中項目ごとに現状をまとめた評価内容を踏まえ、「現状と今後の課題・方向性」について記述するようになっている。

表 1 評価基準の構成

各項目の表示			項目数
大項目	領域 1	～ 領域 11	11
中項目	【1-1】	～ 【11-38】	38
小項目	1-1-1	～ 11-38-2	64

### 2. 評価について

評価にあたっては、以下の(1)～(2)に沿って行う。

- (1) 小項目の「評価の観点」に基づき、評価指標について各校の状況を点検し、該当する評価指標には【○】を、該当しない評価指標には【×】を、チェック欄に記入する。

該当する評価指標の【○】の数に応じて、小項目ごとの 4 段階評価及び中項目、大項目の評価点が自動計算される。

#### 小項目の4段階評価

4 : できている (80~100%)	3 : まあまあできている (60~79%)
2 : あまりできていない (40~59%)	1 : できていない (39%未満)

- (2) (1) をもとに、中項目について簡単にまとめ、それらをふまえて大項目ごとに「現状と今後の課題・方向性」を述べる。

\*大項目の評価は、中項目の4段階評価の平均値で算出する。

- 小項目は、該当する評価指標の数に応じて、整数標記される。
- 中項目は、小項目の平均値を四捨五入し、小数点第1位までを標記される。
- 大項目は、中項目の平均値を四捨五入し、小数点第1位までを標記される。
- 自動計算式を設定した運営調査のフォーマットを、日本赤十字社事業局看護部から赤十字看護専門学校・日本赤十字社助産師学校へ配付する。

領域1 教育理念・教育目的・教育目標

0.0

ストラクチャー  
プロセス  
アウトカム

中項目【1-1】 教育理念・教育目的・教育目標

0.0

1-1-1 教育理念・教育目的・教育目標は、定められている

評価の観点		評価指標		ス	プ	ア
1-1-1 -①	<p>赤十字看護専門学校の教育目的は、赤十字の理念である人道を基調とし、豊かな人間性を育み、看護に関する幅広い能力を備えた赤十字看護師として、広く社会に貢献できる人材を育成することである。その教育理念・教育目的は、教育活動全般の指針となる。</p> <p>また、教育目標は、学校の教育内容・方法の策定の基本とする育成人材像である。</p>	<input type="checkbox"/>	教育理念・教育目的は、赤十字の理念である人道を基調とした赤十字教育の特徴を示している。			
		<input type="checkbox"/>	教育理念・教育目的と教育目標が一貫している。			
		<input type="checkbox"/>	教育理念・教育目的・教育目標は、学生にとって学習の指針となるように具体的に明示している。			
1-1-1 -②	<p>看護師の教育は、人々の健康の保持・増進に関わる社会的責任を担っているという認識に立ち、社会に対し、看護の質を保障するために、どのような教育内容、教育方法、教育環境を整えているかを示さなければならない。そのために、学校運営委員・教職員は理念等および教育計画の周知、進行・管理を行っている。</p> <p>また、学校に対する理解と協力を得るため、理念等を学生・保護者・関連業界等広く社会に様々な方法で公表していく。</p>	<input type="checkbox"/>	赤十字看護師としての質を維持・向上するための教育内容、方法、教育環境の整備について明示している。			
		<input type="checkbox"/>	学校運営委員・教職員は、教育理念、教育目的、教育目標、年間の教育計画等を共有し、連携している。			
		<input type="checkbox"/>	理念等を、学生・保護者・関連業界等に周知している。			
		<input type="checkbox"/>	理念等の、学生・保護者・実習施設への周知度を確認している。			
1-1-1 -③	赤十字の理念のもと、社会的ニーズ、学生の背景、および看護の発展に伴う変化などを把握・分析した上で、教育理念・教育目的、教育目標について適宜見直し、必要に応じ改訂している。	<input type="checkbox"/>	理念等を学生の状況、社会のニーズから、適宜、見直しを行っている。			

1-1-2 教育目標は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合している

評価の観点		評価指標		ス	プ	ア
1-1-2 -①	<p>時代を担う赤十字看護師を育成するために、看護に関連する業界において求められる専門的知識・技術の動向、および資格・免許制度の動向を常に把握し、育成したい人材像について見直しを行っている。</p> <p>看護界のニーズに的確に対応するために、教育課程、授業計画（シラバス）の策定、教員の育成、実習、教材開発等において関連業界等に協力を求め、継続した連携体制を構築している。</p>	<input type="checkbox"/>	看護に関連する行政、専門職集団等が発信する最新の情報を収集・分析している。			
		<input type="checkbox"/>	知識・技術・態度、人間性など赤十字の看護師に求める人材要件を明確にしている。			
		<input type="checkbox"/>	教材の開発等にあたっては、関連業界等からの協力を得て進めている。			
		<input type="checkbox"/>	演習や臨地実習の実施にあたっては、関連業界等からの協力を得ている。			

\*\* 関連業界とは、各学校と関連する医療介護福祉に関連するすべての機関とする。

1-1-3 理念等の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいる

評価の観点		評価指標		ス	プ	ア
1-1-3 -①	<p>赤十字の教育施設における教育目標は、国の内外において将来救護員となる質の高い看護師の養成、並びに赤十字医療施設における看護師確保のための看護師養成にある。この教育目標実現のために、特色ある教育活動に積極的に取り組んでいる。</p>	<input type="checkbox"/>	赤十字の基本原則を指針として行動できる看護師の養成に取り組んでいる。			
		<input type="checkbox"/>	赤十字の救護員となる看護師の養成に取り組んでいる。			
		<input type="checkbox"/>	広い視野をもち国際活動に協力できる看護師の養成に取り組んでいる。			

アウトカム	プロセス	ストラクチャー
-------	------	---------

1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いている

評価の観点		評価指標	
1-1-4 -①	看護学校の管理・運営および情報公開の観点から、3～5年先の中期的将来構想を描き明らかにしている。また、教職員、学生、保護者、関連業界等に周知している。	<input type="checkbox"/>	設置医療施設や支部との連携のもと、社会のニーズ等をふまえて将来構想を定めている。
		<input type="checkbox"/>	教職員は、看護学校の将来構想を理解している。
		<input type="checkbox"/>	看護学校の将来構想を学生・保護者・関係業界等に周知している。

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	理念等を記した文書、印刷物、学校ホームページ
<input type="checkbox"/>	資料	学則、学校案内用印刷物（入学案内・学校案内等）
<input type="checkbox"/>	資料	学生用印刷物（学生便覧・履修案内・学生ガイド等）
<input type="checkbox"/>	資料	学校の特色を記した印刷物
<input type="checkbox"/>	資料	施設・設備一覧
<input type="checkbox"/>	資料	中期的な将来構想、中期事業計画書
<input type="checkbox"/>	資料	学科の教育目標、教育内容を示した印刷物
<input type="checkbox"/>	資料	特色ある授業科目の開設状況・特色ある授業（履修要項 シバラス等）
<input type="checkbox"/>	資料	関連業界との協力を示す資料

領域 2 学校運営

0.0	ストラクチャー プロセス アウトカム
0.0	

中項目【2-2】 運営方針

2-2-1 理念等に沿った運営方針を定めている

評価の観点		評価指標		ス	プ	ア
2-2-1 -①	赤十字看護専門学校の学校運営を円滑に進めるために、赤十字の理念等、教育目標をふまえ、運営方針を明確に定めている。 運営方針は、教職員等学校運営に携わる者全員に、明確に伝え、周知徹底しているか確認している。	<input type="checkbox"/>	赤十字看護専門学校の単年度の運営方針を文書化するなど明確に定めている。			
		<input type="checkbox"/>	運営方針は理念等、教育目標、事業計画をふまえ定めている。			
		<input type="checkbox"/>	運営方針を教職員等に周知している。			
		<input type="checkbox"/>	運営方針の教職員等の周知度を確認している。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	運営方針を記載した文書
<input type="checkbox"/>	資料	理念等、事業計画書、組織目標、業務分掌、業務マニュアル等
<input type="checkbox"/>	資料	教職員に周知した会議・研修資料等

中項目【2-3】 事業計画\*\*

0.0

2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めている

評価の観点		評価指標		ス	プ	ア
2-3-1 -①	学校運営は設立の教育理念、教育目的、育成人材像を達成するために、年間の運営計画に基づいて実施する。そのために、長期・中期・短期の数値目標など具体的な目標を明示した事業計画を適切に定めている。  事業計画には、計画の執行体制・役割分担を明確にするとともに、常にその進捗状況を把握している。  学校運営は、事業計画に沿って適切に行い、適宜見直し、修正を行っている。	<input type="checkbox"/>	中期計画（3～5年程度）を定めている。			
		<input type="checkbox"/>	単年度の事業計画を定めている。			
		<input type="checkbox"/>	事業計画に事業目標等を明示している			
		<input type="checkbox"/>	事業計画の業務分担等を明確にしている。			
		<input type="checkbox"/>	事業計画の執行・進捗状況及び見直しの時期・内容を明確にしている。			

\*\*事業計画とは、学校運営方針に基づき、具体的な行動を示す計画で、1から5年後の目標や戦略等を描いたもの。

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	事業計画書等資料（運営方針、事業計画書、組織目標、業務分掌、業務マニュアル等）
<input type="checkbox"/>	資料	事業計画進行状況が確認できる資料
<input type="checkbox"/>	資料	都道府県の看護師需給状況および看護師確保に関する資料
<input type="checkbox"/>	資料	都道府県の看護教育の動向

領域2 学校運営

中項目【2-4】 運営組織

0.0

2-4-1 学校運営のための組織を整備し、適切に運営している

評価の観点		評価指標		ストラクチャ	プロセス	アウトカム
2-4-1-①	学校運営組織は、理念等や教育目標の達成に向けて構築・整備している。 学校運営組織は、規定の教職員を配置するとともに、役割分担や組織における意思決定の権限等を明確にするための規則、規程などを整備している。	<input type="checkbox"/>	規定の教職員を配置している。			
		<input type="checkbox"/>	学校運営組織図を整備している。			
		<input type="checkbox"/>	教職員の役割を、職務分掌規程で明確にしている。			
2-4-1-②	学校運営に関する意思決定のために開催する学校運営会議・教育会議・教師会議・講師会議は、審議事項、委員構成等を規程等で明確にし、適切に開催している。  とくに、学校運営会議に関する規程においては、適切に整備し、必要に応じて見直し、適切な手続きを経て改正を行っている。	<input type="checkbox"/>	学校運営のための規則・規程等を整備している。			
		<input type="checkbox"/>	規則・規程等は、必要に応じて適正な手続きを経て改正している。			
		<input type="checkbox"/>	会議の審議事項、委員構成等を規程等で明確にしている。			
		<input type="checkbox"/>	会議は、規程等に基づき適切に開催している。			
		<input type="checkbox"/>	会議の議事録（記録）は、開催毎に作成している。			
2-4-1-③	学校運営組織は、教職員の意欲や資質の向上を図る取り組みをしている。	<input type="checkbox"/>	学校運営に携わる教職員の意欲及び資質の向上への取り組みを行っている。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	学則、組織規程、学校運営組織図、職務分掌規程
<input type="checkbox"/>	資料	会議規程、会議・委員会の記録

中項目【2-5】 人事・給与制度

0.0

2-5-1 人事・給与に関する制度は整備されている

評価の観点		評価指標		ス	プ	ア
2-5-1-①	教職員の配置は、中期・短期的に計画等に基づき行う必要がある。 必要な人材を確保するために、設置医療施設との連携を密にし、教職員を適材・適所に配置している。	<input type="checkbox"/>	教職員の配置基準・手続きについて、規程などで明確に定め、適切に運用している。			
		<input type="checkbox"/>	設置医療施設との連携のもとに、必要な人材を確保している。			
2-5-1-②	給与（賃金）の支払いは、基準・規程を整備し適切に運用する必要がある。 昇任・昇給の基準は、規程などで明確に定め、適切に運用している。	<input type="checkbox"/>	給与支給等に関する基準・規程を整備し、適切に運用している。			
		<input type="checkbox"/>	昇任・昇給の基準を規程などで明確化し、適切に運用している。			
2-5-1-③	人事考課制度は、意義や目的を明確にした上で、運営方針や組織目標等と整合性を図り、規程などに基づき適切に運用している。	<input type="checkbox"/>	人事考課制度を規程等で明確化し、適切に運用している。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	就業規則、人事規程、給与規程、昇給・昇格規程、人事考課規程、採用基準、採用広報など印刷物
<input type="checkbox"/>	資料	教員名簿（氏名、年齢、経験年数、教員資格、担当科目、授業時間数、性別、専任兼任別記載のもの）
<input type="checkbox"/>	資料	教員採用および配置計画、教職員の採用経過の記録

領域2 学校運営

中項目【2-6】 意思決定システム\*\*

0.0

2-6-1 意思決定システムを整備している。

評価の観点		評価指標		ストラクチャ	プロセス	アウトカム
2-6-1-①	学校の管理・運営にあたり日本赤十字社法・日本赤十字社定款・日本赤十字社看護専門学校規程等で明確にした意思決定のシステムを確立している。	<input type="checkbox"/>	意思決定システムは、規則・規程等で明確にしている。	■	■	■
		<input type="checkbox"/>	意思決定システムにおいて、意思決定の権限等を明確にしている。			
2-6-1-②	諸事案の決定を適切に行うために、意思決定の権限や役割機能を明確にし、各組織の構成員の意思や考え方を十分に反映している。また、決定事項などを周知するように整えている。	<input type="checkbox"/>	意思決定システムは、組織構成員の意思を反映できるよう示している。	■	■	■
		<input type="checkbox"/>	意思決定システムは、決定事項が周知できるように明文化されている。			

\*\*意思決定システム：意思決定のルール、権限・責任・業務分掌、意思決定のプロセスを明確化したもの

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	社法・定款・日本赤十字社看護専門学校規程等の意思決定システムを規程する文書
<input type="checkbox"/>	資料	意思決定に係る会議についての規程（役割・機能・構成メンバー等の記載があるもの）、会議録

中項目【2-7】 情報システム

0.0

2-7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っている

評価の観点		評価指標		ス	プ	ア
2-7-1-①	情報システム化により、業務の効率化を図っている。さらに、学生の入学から卒業及び卒業後の状況について、一人ひとりの情報を管理できる情報システムを構築し、きめ細かな指導に活用している。	<input type="checkbox"/>	学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築している。	■	■	■
		<input type="checkbox"/>	タイムリーな情報提供、意思決定に、情報システムを活用している。			
		<input type="checkbox"/>	学生指導に際して、規程されたルールに基づいて学生情報管理システムを活用している。			
2-7-1-②	情報システムの運用に際しては、データ更新を適切に行っている。また、常に良好な状態で業務遂行ができ、個人情報等の漏えい防止に対応するために、機器類なども含めたメンテナンス及びセキュリティ体制を確立している。	<input type="checkbox"/>	データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積している。**	■	■	■
		<input type="checkbox"/>	定期的なメンテナンス及び個人情報の漏えいが起こらないように管理している。または、予防策を講じている。			

\*\*データの更新等を適切に行うとは、『データを一元管理とし、常にバックアップを行い、最新の情報を更新すること』と考えるが、各校の情報システムの状況に応じて実施すること。

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	情報システム概要・システム構成図
<input type="checkbox"/>	資料	メンテナンス体制についての書類（契約書等）
<input type="checkbox"/>	資料	効率化への取り組み例、学生指導への活用例
<input type="checkbox"/>	資料	情報ネットワークの整備状況（パソコン接続状況）、授業内外での学生が利用可能な台数
<input type="checkbox"/>	資料	各種出力帳票など
<input type="checkbox"/>	資料	利用規則・規程、セキュリティ規則、運用規則などシステムに関するルールを規程化したもの

領域3 教育活動

0.0	ストラクチャー	プロセス	アウトカム
0.0			

中項目【3-8】 目標設定

3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針・実施方針を定めている

評価の観点		評価指標		ストラクチャー	プロセス	アウトカム			
3-8-1 -①	教育課程は、責任をもって編成すべきものであるため、編成体制は規程等で、編成過程は議事録等で明確にしている。教育課程編成は、教育会議等によって組織的に行い、組織の目的、機能、役割を明確に規定している。	<input type="checkbox"/>	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めている。						
	赤十字教育課程の運営は、日本赤十字社看護専門学校準則第25条に規定された教育課程を含み、運営する活動を意味している。	<input type="checkbox"/>	教育課程の編成方針、実施方針について、教職員に周知している。						
	そのため、教育課程の編成方針、実施方針を明確に定め、教職員に周知するとともに学生・保護者・関係業界等に対し理解と協力を得るために積極的に公表することが望ましい。	<input type="checkbox"/>	教育課程の編成方針、実施方針について、学生・保護者・関係業界等に公表している。						

3-8-2 教育到達レベルを明確にしている

評価の観点		評価指標		ス	プ	ア
3-8-2 -①	教育目標は、将来、救護員となる質の高い看護師の養成、並びに赤十字医療施設における看護師確保のための看護師の養成という、赤十字看護専門学校が担う役割を遂行できる内容になっている。	<input type="checkbox"/>	教育到達レベルは、理念等に適合している。			
	教育理念・教育目的の実現のために、どのような内容をどのレベルまで到達させるか、目標内容の側面と達成レベルの側面から検討している。	<input type="checkbox"/>	学年毎の教育到達レベルを明示している。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	教育課程編成方針等に関する文書
<input type="checkbox"/>	資料	学年ごとの到達目標を示す資料
<input type="checkbox"/>	資料	教育課程運営の考え方と具体的な構成を示した文書
<input type="checkbox"/>	資料	教育内容の階層的関連性とその配分の考え方を示した文書（例：学生便覧、履修要覧 等）
<input type="checkbox"/>	資料	看護、看護専門職、看護基礎教育をどのように捉えているかを記述した文書（教育課程、実習要項）
<input type="checkbox"/>	資料	卒業時の学生のあり方を看護目標との関連から解説した文書等（カリキュラムと教育目的、目標の構造図、教育課程構造図）
<input type="checkbox"/>	資料	授業科目の開設状況、授業時間割（シラバス等）
<input type="checkbox"/>	資料	学生・保護者・関係業界等に周知するための印刷物（学生便覧・履修案内・学生ガイド等）
<input type="checkbox"/>	資料	関係業界等との連携・協力についての組織・協定等の資料

領域3 教育活動

中項目【3-9】 教育方法・評価等

0.0

3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成している

評価の観点		評価指標		ストラクチャー	プロセス	アウトカム
3-9-1-①	<p>教育課程は、教育目的・目標達成に向け、必要授業科目、修了に必要な授業時数、授業科目間の配置など勘案し、体系的に編成している。</p> <p>教育課程は責任を持って編成すべきものであるため、編成体制は規程等で、編成過程は議事録等で明確にしている。</p> <p>学則準則に規定された教育課程については、基礎分野、専門基礎分野、専門分野Ⅰ・Ⅱ、統合分野についての考え方や、各分野の具体的な内容についての考え方を明示している。</p>	<input type="checkbox"/> 教育課程を編成する体制は、規定等で明確にしている。				
		<input type="checkbox"/> 議事録を作成するなど、教育課程の編成過程を明確にしている。				
		<input type="checkbox"/> 基礎分野、専門基礎分野、専門分野Ⅰ・Ⅱ、統合分野についての考え方や、各分野の具体的な内容についての考え方を明示している。				
		<input type="checkbox"/> 明確な考え方や根拠をもって授業科目を構成している。				
3-9-1-②	<p>各科目の授業計画（シラバス、詳しい授業計画に相当するもの。各回の授業内容、目標、評価方法などを記載する。）は、必要事項を統一した様式を定め作成し明示している。シラバスの提示は、学生の授業への主体的参加、授業への興味・関心、理解を深め、学習への動機づけとなっている。</p> <p>教育課程は、社会環境の変化に伴う医療の現場のニーズの変化を的確に反映したものとするために、定期的に見直しを行っている。</p>	<input type="checkbox"/> 授業科目について、授業計画（シラバス）を作成している。				
		<input type="checkbox"/> シラバスの提示は、学生の学習への動機づけと支援になっている。				
		<input type="checkbox"/> 教育課程は定期的に見直し、改定を行っている。				

3-9-2 教育目的・目標に沿った教育課程を実施している

評価の観点		評価指標		ス	ブ	ア
3-9-2-①	<p>授業科目は、各科目の適切な配分や授業形態を考慮して設定し、授業を展開するにあたっては、授業形態の選択や教育方法・教材等を工夫している。</p>	<input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を実施している。				
		<input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、講義、演習、実習等、適切な授業形態を用いて実施している。				
		<input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、授業内容・授業方法を工夫し実施している。				

3-9-3 教育課程について、在校生ならびに外部の意思を反映している

評価の観点		評価指標		ス	ブ	ア
3-9-3-①	<p>卒業時の学生の看護実践能力を把握し、看護師を養成する教育目的が達成できているかを評価している。また、卒業後の就職先での看護実践能力を把握し、在学中の教育内容が看護の現場で必要とされる実践能力の基盤となりえているかを判断することが望ましい。</p> <p>教育課程の編成及び改定にあたっては、その内容に関連する医療関係者や在校生、卒業生、卒業生の就職先等から、必要に応じて具体的な意見を聴取し、反映している。</p>	<input type="checkbox"/> 教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っている。				
		<input type="checkbox"/> 教育課程の編成及び改定において、関連業界等の意見聴取や評価を行っている。				
		<input type="checkbox"/> 看護教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っている。				

領域3 教育活動

中項目【3-9】 教育方法・評価等

3-9-4 キャリア教育を実施している

評価の観点		評価指標	ストラクチャー	プロセス	アウトカム
3-9-4 -①	<p>看護師に必要な知識・技術・技能の付与に加え職業人になるという自覚や態度を涵養し、学んだ専門知識や技術を実際の職場で生かすためのコミュニケーションスキルや問題解決などの能力を育成するキャリア教育も必要である。</p> <p>キャリア教育の実施にあたっては、方針の明確化と教育内外を通じた体系的、総合的なキャリア教育の推進が求められる。キャリア教育が有効なものになっているか、卒業生の就職先などへの調査等を、適宜、行うことが望ましい。</p>	<input type="checkbox"/> キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めている。			
		<input type="checkbox"/> キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫している。			
		<input type="checkbox"/> キャリア教育の効果について卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っている。			

3-9-5 授業評価を実施している

評価の観点		評価指標	ス	ブ	ア
3-9-5 -①	<p>授業評価から得られる情報は、教育システムの確立・見直しにとって有用なものである。実践的な看護教育を行うため、授業評価を積極的に実施して、評価結果を教育課程の改定や授業改善に活用している。</p>	<input type="checkbox"/> 授業評価を実施する体制を整備している。			
		<input type="checkbox"/> 学生に対するアンケート等の実施など、多様な評価方法を取り入れて授業評価を行っている。			
		<input type="checkbox"/> 評価結果に基づいて、実際に授業を改善している。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	教育課程を編成する体制を示した文書
<input type="checkbox"/>	資料	教育内容の階層的関連性とその配分の考え方を示した文書（例：学生便覧、履修要覧 等）
<input type="checkbox"/>	資料	単位認定の考え方、方法を説明した文書
<input type="checkbox"/>	資料	教育課程の評価をどのように行うかを示した文書
<input type="checkbox"/>	資料	授業内容のまとまりの考え方、各科目の教育課程上の位置づけ・目標を記述した文書（学生便覧・履修要覧・シラバス）
<input type="checkbox"/>	資料	キャリア教育の考え方、内容等を示した文書
<input type="checkbox"/>	資料	授業評価の考え方を示した文書
<input type="checkbox"/>	資料	授業評価の結果を整理した資料
<input type="checkbox"/>	資料	教授・学習過程における評価のフィードバック状況がわかる資料
<input type="checkbox"/>	資料	卒業生に係る調査結果

領域3 教育活動

中項目【3-10】 臨地実習

0.0

3-10-1 臨地実習における支援体制はある

評価の観点		評価指標	ストラクチャー	プロセス	アウトカム
3-10-1-①	臨地実習施設の責任者をはじめ、看護師長、臨地実習指導者に対し、自校の教育理念・教育目的・教育目標と実習目標とのつながりや実習目標・方法等についての理解を得るような働きかけを不断に行っている。	<input type="checkbox"/> 臨地実習施設の責任者をはじめ、看護師長、臨地実習指導者等は、自校の教育理念・教育目的、教育目標と実習目標のつながり等について理解している。			
	臨地実習指導者は、学生の学習に大きな影響を与える。的確に学生指導でき、専門職業人としてのモデルとなれるよう、実習指導者講習会等を受講した者が望ましい。また、学生が実習する看護単位には、臨地実習指導者が二人以上配置されていることが望ましい。	<input type="checkbox"/> 臨地実習施設は、受け入れ学生数に応じて臨地実習指導者を適当数、配置している。			
	臨地実習の場は、看護の実践を学ぶ場である。そのため、学生が看護への関心を高め、充実感を味わえるように実習の場を調整している。また、連絡会や学習会を設けて情報交換を行い、学校と臨地実習施設が同じ目標に向かって協力し支援体制を整えている。	<input type="checkbox"/> 臨地実習施設は、学生の看護実践の学習を支援する体制を整えている。			
3-10-1-②	臨地実習指導者は、対象者の日々変化する状況に応じて、学生が適切なケアを提供できるように支援、指導を行う。一方教員は、学生のレディネスに配慮し、臨地実習における学生の体験の意味づけを教育的視点に立って支援、指導を行う。それらをふまえ両者の役割を明確にし、学生の実習における教育環境を整えている。	<input type="checkbox"/> 臨地実習指導における学生の学びを保障するために、教員と臨地実習指導者の役割を明確にしている。			
	臨地実習において、臨地実習指導者と教員は協力しながら学生に対する支援、指導を行う。学生、患者の日々の状況に合わせて、学習内容、指導方法の選択ができるよう連携を図っている。	<input type="checkbox"/> 臨地実習指導者と教員の協働体制を整えている。			
3-10-1-③	学生からケアを受ける対象者の権利やプライバシーを侵害することのないよう、学校と臨地実習施設は対象者の権利とプライバシーの保護に関する基本的な考え方を明確にしている。	<input type="checkbox"/> 学生からケアを受ける対象者の権利を尊重するための考え方を明示している。			
	また、実習記録やケーススタディの資料等を安易に取り扱わない等、看護の学習者としての基本的な態度や行動、個人情報保護に関する教育を、臨地実習前から計画的に実施する指導体制を整えている。	<input type="checkbox"/> 対象者の権利を尊重する考え方に基づいて、学生への指導体制を整備し計画的に行っている。			
3-10-1-④	臨地実習において、学生自身が事故を起こしたり、巻き込まれたりしないとは言いきれない（事故には医療事故のみではなく感染も含む）。事故防止のため、学生に対して事故の考え方、実習に関連する事故の現状や対策等について、実習の進度に合わせて系統的に安全教育を実施している。	<input type="checkbox"/> 学生に対する安全教育、安全対策を計画的に行っている。			
	また、学生のインシデントの実態を把握、分析し、安全対策に活かすシステムがある。	<input type="checkbox"/> 臨地実習において学生が関係する事故を把握、分析し、安全対策を講じている。			
	さらに、アクシデント（事故）が発生した場合、事故の関係者や学生への影響を可能な限り最小限に止めるよう、対策を講じる体制を整えている。	<input type="checkbox"/> 事故発生時は適切に対処し、再発防止に取り組んでいる。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	臨地実習施設を選択を示す資料、臨地実習委託契約書、委任状等
<input type="checkbox"/>	資料	学生の臨地実習配置についての方針を示す資料、臨地実習指導者の配置状況、教育背景
<input type="checkbox"/>	資料	臨地実習施設との連絡・調整をどのように得て指導体制を整備しているかを示す資料
<input type="checkbox"/>	資料	臨地実習指導に関する会議の運営要綱及び会議録、臨地実習指導者との学習会等の記録
<input type="checkbox"/>	資料	臨地実習指導者と教員の役割を明示した文書
<input type="checkbox"/>	資料	臨地実習で学生が受け持ちとなる患者の権利とプライバシーの保護について、学校と実習施設の考え方を示した文書
<input type="checkbox"/>	資料	学生に対する安全教育、安全対策の計画
<input type="checkbox"/>	資料	学生の臨地実習中に発生する事故への対応を示した文書
<input type="checkbox"/>	資料	学生のインシデント・アクシデントを分析した資料

領域3 教育活動

中項目【3-11】 成績評価・単位認定等

0.0

ストラクチャー  
プロセス  
アウトカム

3-11-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している

評価の観点		評価指標			
3-11-1 -①	成績評価基準を学則等で明確に定め、教員はその基準に従って成績評価、修了の認定を適正に行っている。また、成績評価の基準を適切に運用するため、客観性・統一性を確保するための会議等を設定している。  成績評価基準は、学生に明示している。また、入学前の履修、他の教育機関の履修認定について、学則等の規程に基づき、適切に取り扱っている。	<input type="checkbox"/>	成績評価の基準について、学則等に規程するなど明確にし、かつ、学生等に明示している。		
		<input type="checkbox"/>	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取り組んでいる。		
		<input type="checkbox"/>	入学前の既習、他の教育機関の既習の認定について、学則などに規程し、適切に運用している。		

3-11-2 学習成果を発表する機会がある

評価の観点		評価指標				
3-11-2 -①	直接的教育成果となる、ケーススタディや学習の成果等を発表する機会を設けている。	<input type="checkbox"/>	在校生が、ケーススタディや学習成果等を発表する機会がある。	ス	ブ	ア

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	成績評価の基準について説明した文書
<input type="checkbox"/>	資料	成績判定会議等の資料
<input type="checkbox"/>	資料	単元履修の考え方や履修の方法を示した文書
<input type="checkbox"/>	資料	単位認定の考え方、方法を明示した文書
<input type="checkbox"/>	資料	実習施設に対して実習評価の方法・基準等を示した文書、実習指導要綱
<input type="checkbox"/>	資料	入学前の既習得単位の認定についての規程
<input type="checkbox"/>	資料	入学前の既習得単位の認定実績の資料
<input type="checkbox"/>	資料	研究発表実績（ケーススタディを含む）の資料

中項目【3-12】 資格・免許の取得の指導体制

0.0

3-12-1 資格・免許取得の指導体制はある

評価の観点		評価指標				
3-12-1 -①	看護師の資格・免許の取得を目指し、看護師国家試験合格に向けての支援、指導では、授業科目での指導に加え、有効な指導方法や指導体制を構築し、補習やグループでの学習指導、特別講座などの実施に取り組んでいる。  また、不合格で卒業した学生等の資格試験への再チャレンジに関しても、指導が継続できるような体制を整備している。	<input type="checkbox"/>	看護師の資格・免許の取得を目指し、看護師国家試験合格に向けて、指導体制を整備している。	ス	ブ	ア
		<input type="checkbox"/>	不合格者への卒後の指導体制を整備している。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	合格実績・合格率（推移、全国平均との比較表等において、水準や取組結果との関連が確認できる資料）
<input type="checkbox"/>	資料	看護師国家試験合格に向けての指導体制
<input type="checkbox"/>	資料	卒後の指導体制に関する資料

領域3 教育活動

中項目【3-13】 教員・教員組織

0.0

ストラクチャ  
プロセス  
アウトカム

3-13-1 資格・要件を備えた教員を確保している

評価の観点		評価指標				
3-13-1-①	<p>赤十字看護専門学校の専任教師の資格要件は、日本赤十字社看護専門学校規程第9条並びに運用上の留意事項に定められている。それらに基づき、領域の特徴、学生数、履修形態等を考えあわせて、各領域の教員の配置人数、担当教育内容の割り振り、他の領域の教員との協力体制等を考慮し、指導体制を整えている。</p> <p>教員の任用にあたっては、設置施設の看護部長と協議し、看護学の各専門領域を確実に指導できるように、計画的に育成し、適正配置を考えて教員を選考している。</p>	<input type="checkbox"/>	日本赤十字社看護専門学校規程に基づき、教員数の確保及び配置をしている。			
		<input type="checkbox"/>	教員一人当たりの授業時数、学生数等を考慮し、配置している。			
		<input type="checkbox"/>	教員の養成計画・配置計画を定めている。			

3-13-2 教員の組織体制を整備している

評価の観点		評価指標				
3-13-2-①	<p>教員組織において、業務分担や責任体制について、規程等に明確に定めている。教員は、教育面でも管理運営面でも、他の教職員と協力し、教育の質を高める努力をしなければならない。</p> <p>そのため、授業科目担当等において連携・協力体制を構築し、授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取り組みが行われている。</p>	<input type="checkbox"/>	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めている。	ス	ブ	ア
		<input type="checkbox"/>	教員間の連携・協力体制を構築している。			
		<input type="checkbox"/>	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取り組みがある。			

3-13-3 教員の資質向上への取り組みを行っている

評価の観点		評価指標				
3-13-3-①	<p>教員はそれぞれ専門領域を持ち、その領域の教育課程の運用の責任を担う。教員自らが専門領域について、学問的に追及していく姿勢をもち自己啓発している。</p> <p>また、各教員の専門性の質の維持・向上を保障するために、適宜研修等による育成策を実施している。</p> <p>さらに、専門性の確保とともに、教員の教授力（インストラクションスキル）の向上のための支援を行っている。</p>	<input type="checkbox"/>	教員の専門性、教授力を把握・評価している。			
		<input type="checkbox"/>	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用している。			
		<input type="checkbox"/>	設置医療施設・関連業界等との連携による教員の研修に取り組んでいる。			
		<input type="checkbox"/>	教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援している。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	研修会・研究活動への経済的、時間的な支援システム及び参加状況
<input type="checkbox"/>	資料	教員の相互研鑽を保障するシステム及び活動状況について記述した文書
<input type="checkbox"/>	資料	教員の人材育成に関する資料
<input type="checkbox"/>	資料	臨床との連携体制を示す書類等
<input type="checkbox"/>	資料	教員名簿（氏名・年齢・経験年数・教員資格・担当科目・授業時数・性別・専任兼任別等記載のもの）
<input type="checkbox"/>	資料	研究活動状況、学会発表状況、誌上発表状況、研究協力状況
<input type="checkbox"/>	資料	教員の学会入会状況、教員に対する研究活動支援に関する研究
<input type="checkbox"/>	資料	職務分掌を明記した文章
<input type="checkbox"/>	資料	組織の構成と教職員の任用の考え方、資格審査、任免、昇格等に関する規定を明記した文書
<input type="checkbox"/>	資料	教職員の資質や役割機能や維持・向上するための考え方や対策を明示した文書

領域4 学修成果

0.0	ストラクチャリー プロセス アウトカム
0.0	

中項目【4-14】 就職率

4-14-1 就職率の向上が図られている

評価の観点		評価指標		ス	ブ	ア
4-14-1-①	学生の就職に関する数値として、卒業者数に対する就職者数の割合、就職希望者数に対する設置医療施設への就職者数の割合、就職希望者数に対する設置医療施設以外の赤十字病院への就職者数の割合等が挙げられる。  学校は就職先、就職者数、就職率といった就職活動の成果に関する情報及びその推移を正確に把握し、学生の就職活動支援の資料として有効に活用している。	<input type="checkbox"/>	設置医療施設への就職率に関する目標を設定している。			
		<input type="checkbox"/>	設置医療施設やそれ以外の赤十字医療施設等と、就職に関し連携している。			
		<input type="checkbox"/>	就職率等のデータについて適切に管理し、取り組みを評価している。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	過去3年間の卒業者就職者数・就職率データ
<input type="checkbox"/>	資料	過去3年間の求職者就職者数・就職率データ
<input type="checkbox"/>	資料	採用試験の受験状況資料
<input type="checkbox"/>	資料	就職対策講座の案内・就職活動を支援するための冊子

中項目【4-15】 資格・免許の取得率

0.0
-----

4-15-1 資格・免許の取得率の向上が図られている

評価の観点		評価指標		ス	ブ	ア
4-15-1-①	看護師の資格・免許の取得率の目標を明確にし、取得率を向上させるための方策を定め、適切に対応していかなければならない。学生の学習を支援するための特別講座の開講、グループ学習指導、個別指導など様々な取り組みを行っている。  学校は看護師の資格取得者数、看護師国家試験合格率等、成果に関する情報及び推移を正確に把握している。また全国水準との比較分析を行い、学生の資格・免許取得の指導方法等の改善のための資料として有効に活用している。	<input type="checkbox"/>	資格・免許取得率に関する目標設定を行っている。			
		<input type="checkbox"/>	特別講座、セミナーの開講等授業を補完する学習支援に取り組んでいる。			
		<input type="checkbox"/>	合格実績、合格率、全国水準との比較を行っている。			
		<input type="checkbox"/>	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っている。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	特別講座、特別授業開設一覧表
<input type="checkbox"/>	資料	学生用に周知するための印刷物（学生便覧・履修案内・学生ガイド等）
<input type="checkbox"/>	資料	合格実績・合格率（推移、全国平均との比較表等において、水準や取組結果との関連が確認できる資料）

中項目【4-16】 卒業生の社会的評価

0.0
-----

4-16-1 卒業生の社会的評価を把握している

評価の観点		評価指標		ス	ブ	ア
4-16-1-①	学校の評価は、卒業生の評価に負うところが大きい。在学中の教育内容が、看護の現場で必要とされる実践能力の基盤になり得ているかを判断するため、就職先での看護実践状況（活動状況）や卒業生の動向を把握している。	<input type="checkbox"/>	卒業生の就職先から情報収集する等、卒後の活動状況等を把握している。			
		<input type="checkbox"/>	卒業生の動向等を把握している。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	卒業生の社会での活躍や評価のデータまたは書類、資料
<input type="checkbox"/>	資料	卒業生の活躍記事等の印刷物、活躍を紹介した学校案内用印刷物（入学案内・学校案内等）、学生用印刷物（学生便覧・履修案内・学生ガイド等）
<input type="checkbox"/>	資料	卒業生の研究業績等の実績

領域5 学生支援

0.0

中項目【5-17】 就職等進路

0.0

5-17-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備している

0.0

評価の観点		評価指標		ストラクチャー	プロセス	アウトカム
5-17-1 -①	<p>学生の就職活動を支援するため、設置医療施設や関連業界等の職場内容を理解させるため、可能なかぎり現場体験をさせるなど、学生が自らの職業観を確立することができるように、教育課程上において工夫している。</p> <p>また、一人ひとりの就職活動にきめ細かく対応するため、担任教員は就職進路相談の担当者と連携し、就職説明会の開催や個別相談の実施など具体的な活動支援にあたることが望まれる。</p> <p>さらに、学生の就職活動に対しては、履歴書の書き方、面接の受け方など就職活動を具体的に支援している。</p>	<input type="checkbox"/>	就職など進路支援のための組織体制を整備している。			
		<input type="checkbox"/>	担任教員と就職進路相談の担当者と連携し、支援している。			
		<input type="checkbox"/>	学生の就職活動の状況を学内で共有している。			
		<input type="checkbox"/>	設置医療施設と連携し、就職説明会等を開催している。			
		<input type="checkbox"/>	関連業界等と就職に関して、連携している。			
		<input type="checkbox"/>	履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講している。			
		<input type="checkbox"/>	就職に関する個別の相談に適切に応じている。			

5-17-2 インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備している

0.0

評価の観点		評価指標		ス	プ	ア
5-17-2 -①	<p>インターンシップ・海外研修等については、<b>十分な成果</b>が上がるよう、その意義や方針を明確にし、<b>実習機関などと連携</b>している。また、インターンシップ・海外研修等について、実績を分析することにより現状を改善し、より教育効果の高い実施体制を構築することが望ましい。</p>	<input type="checkbox"/>	インターンシップ等について、意義や <b>方針</b> を明確にしている。			
		<input type="checkbox"/>	インターンシップについて、医療施設の指導者との連携・協議の機会を確保している。			
		<input type="checkbox"/>	インターンシップ等の教育効果について確認している。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	就職支援体制を確認できる資料（組織図、役割分担、会議名、構成員、会議記録等）
<input type="checkbox"/>	資料	就職進路相談室の役割と相談記録、活用状況・利用満足度を示すデータ
<input type="checkbox"/>	資料	過去3年間の卒業者の就職者数・就職率データ
<input type="checkbox"/>	資料	就職活動の目標達成に関するデータ
<input type="checkbox"/>	資料	学生の就職活動報告書
<input type="checkbox"/>	資料	採用試験の受験状況資料
<input type="checkbox"/>	資料	就職対策講座の案内、就職活動の支援に関する冊子
<input type="checkbox"/>	資料	就職説明会案内、就職説明会の記録
<input type="checkbox"/>	資料	関連業界等との連携・協力についての組織、協定等の資料

領域5 学生支援

中項目【5-18】 休学・退学への対応

0.0

5-18-1 休学・退学率の低減が図られている

評価の観点		評価指標		ストラクチャー	プロセス	アウトカム
5-18-1 -①	<p>学生の休学・退学の要因は、個人の特性や経済的困難、進路変更、生活習慣等様々である。入学者数・退学者数・休学者数・在籍者数又は指導記録等を正確に記録し、適切に保存して学生の指導に活用している。</p> <p>学校は、可能な限り入学者全員を卒業させるために指導に努め、退学率の低減を図る責任がある。そのため、学生が抱える様々な問題を早期に把握するための相談体制を整備している。また、担任教員と連携し、保護者とも連絡を取り、問題の解決に適切に対応している。</p>	<input type="checkbox"/>	各学年における休学・退学の要因、傾向、人数を把握している。			
		<input type="checkbox"/>	指導経過記録を適切に保管している。			
		<input type="checkbox"/>	休学・退学の低減に向けた学内における相談体制がある。			
		<input type="checkbox"/>	休学・退学に結びつきやすい、学生の心理面、学習面での特別指導体制がある。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	各学年の入学者・退学者・休学者・在籍者過去3年間推移データ、休学率・退学率の過去3年間の推移データ
<input type="checkbox"/>	資料	退学・休学の要因、退学・休学年次等分析等のデータ、資料
<input type="checkbox"/>	資料	退学率・休学率の低減のための具体策を確認する資料
<input type="checkbox"/>	資料	相談体制、退学・休学に至るまでの指導記録に関する資料

中項目【5-19】 学生相談

0.0

5-19-1 学生相談に関する体制は整備されている

評価の観点		評価指標		ス	ブ	ア
5-19-1 -①	<p>学生に対する修学支援として、学生相談体制を整備している。学生相談にあたっては、相談室の設置、専任カウンセラーの配置などの環境を整備している。</p> <p>学生相談を受けた場合は、相談記録等を正確に記録し、適切に保管している。</p> <p>教職員がカウンセリングスキルを習得したり、設置医療施設等と適切に連携を図っている。</p>	<input type="checkbox"/>	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備している。			
		<input type="checkbox"/>	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っている。			
		<input type="checkbox"/>	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っている。			
		<input type="checkbox"/>	相談記録を適切に保管している。			
		<input type="checkbox"/>	設置医療施設等と連携している。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	学生相談体制を確認する資料（学生相談室規則、専門相談員等の配置等）
<input type="checkbox"/>	資料	学生相談に関する実績等データ（相談室の活用状況や満足度のデータ）
<input type="checkbox"/>	資料	医療機関等専門機関との連携を確認する資料（契約書等）
<input type="checkbox"/>	資料	相談室案内など学生への周知用の印刷物やプリント

領域5 学生支援

中項目【5-20】 学生生活

0.0

ストラクチャー  
プロセス  
アウトカム

5-20-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備している

評価の観点		評価指標		ストラクチャー	プロセス	アウトカム
5-20-1 -①	学生の修学支援として、経済的側面に対する支援が必要である。経済的側面の支援として、独自の奨学金制度の創設や公的奨学金制度の案内・相談等、適切に対応している。また、諸事情による家計急変等に対する支援制度や学費の減免制度を整備することが望まれる。	<input type="checkbox"/>	各種、奨学金制度を整備している。			
		<input type="checkbox"/>	学費の減免、分割納付制度を整備している。			
		<input type="checkbox"/>	全ての経済的支援制度の利用について学生・保護者に情報提供している。			
		<input type="checkbox"/>	公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応している。			
		<input type="checkbox"/>	全ての経済的支援制度の利用について実績を把握している。			

5-20-2 学生の健康管理を行う体制を整備している

評価の観点		評価指標		ス	プ	ア
5-20-2 -①	学校には、 <b>学校安全保健法</b> に基づき計画の策定や健康診断等が義務づけられている。急病、事故による怪我などへの対応のため、保健室の設置や保健の担当者の配置、設置医療施設等との連携などの体制を整備している。また、学生生活を健康に過ごすための啓発教育にも取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>	学校保健計画を定めている。			
		<input type="checkbox"/>	学校医を選任している。			
		<input type="checkbox"/>	保健室を整備し、保健の担当者を決めている。			
		<input type="checkbox"/>	定期健康診断を実施して記録を <b>保管</b> している。			
		<input type="checkbox"/>	有所見者の再健診について適切に対応している。			
		<input type="checkbox"/>	心身の健康相談に対応する体制がある。			
		<input type="checkbox"/>	設置医療施設等との連携はある。			

5-20-3 学生寮の設置などの生活支援体制を整備している

評価の観点		評価指標		ス	プ	ア
5-20-3 -①	学生の修学支援として、遠隔地から就学してくる学生に対し、学生が学習に集中でき、かつ、保護者の不安を解消するということで、専用の学生寮を設け、安全で衛生的、かつ、快適な生活環境の確保している。学生寮の管理体制や生活指導について明確にし、適切に運用している。	<input type="checkbox"/>	遠隔地から就学する学生のための寮などを整備している。			
		<input type="checkbox"/>	学生寮の管理体制、委託業務、生活指導体制等は明確になっている。			
		<input type="checkbox"/>	学生寮の数、利用人員、充足状況は、明確になっている。			

\*学生寮のある学校のみ、評価する。

領域5 学生支援

中項目【5-20】 学生生活

ストラクチャー	プロセス	アウトカム
---------	------	-------

5-20-4 自治会活動等に対する支援体制を整備している

評価の観点		評価指標	
5-20-4 -①	学生にとって、学習面ばかりでなく、自治会活動等への参加することにより、充実した学生生活を送ることができる。学校は自治会活動等に関する学生の要望を把握し、快適で充実した学生生活を送れるよう支援している。	<input type="checkbox"/>	自治会活動等、学生の活動状況を把握している。
		<input type="checkbox"/>	活動状況に応じて、必要な支援を行っている。
		<input type="checkbox"/>	活動実績を把握している。

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	独自の奨学金制度に関する規程等
<input type="checkbox"/>	資料	独自の奨学金の運営状況と貸与及び支給の決定経過がわかる資料
<input type="checkbox"/>	資料	学生・保護者等用案内印刷物
<input type="checkbox"/>	資料	学則、学納金の取扱いに関する規程・要綱、学費分納制度に関する学生・保護者向け案内
<input type="checkbox"/>	資料	学校保健計画書（健康診断や健康に関する指導などについての実施計画書）
<input type="checkbox"/>	資料	健康管理体制が確認できる資料（学校医の選任、保健室の設置、健康診断の実施、相談体制の確立等）
<input type="checkbox"/>	資料	健康診断の実施記録、スケジュール、有所見率、二次健診の実施内容
<input type="checkbox"/>	資料	設置医療施設との連携体制を示す資料
<input type="checkbox"/>	資料	学則、学生寮の規程、使用に関するルール、学生・保護者向寮案内
<input type="checkbox"/>	資料	学生寮等の管理内容を示す資料（協定・契約書等資料）
<input type="checkbox"/>	資料	自治会活動や課外活動（クラブ活動）の活動実態が確認できる資料
<input type="checkbox"/>	資料	自治会活動や課外活動への支援の実績が確認できる資料
<input type="checkbox"/>	資料	自治会活動や課外活動を学内外に紹介した資料

中項目【5-21】 保護者との連携

0.0

5-21-1 保護者との連携体制を構築している

評価の観点		評価指標		ス	ブ	ア
5-21-1 -①	学修支援、生活指導の面での問題解決にあたっては、保護者との連携が不可欠である。学校は、保護者に十分情報を提供するための保護者会の開催、学校行事の案内、個別面談の機会提供等、適切に対応している。また、災害時における緊急連絡体制を整えている。	<input type="checkbox"/>	保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っている。			
		<input type="checkbox"/>	個別面談等の機会を保護者に提供し、面談記録を適切に保管している。			
		<input type="checkbox"/>	学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携している。			
		<input type="checkbox"/>	緊急時、保護者との連絡体制を整えている。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	保護者会開催資料、開催記録、保護者会規程等
<input type="checkbox"/>	資料	保護者あて情報提供資料（保護者会たより、ニュース、保護者・学生専用サイト等）
<input type="checkbox"/>	資料	保護者面談等の記録

領域5 学生支援

中項目【5-22】 卒業生・社会人

0.0

5-22-1 卒業生への支援体制を整備している

評価の観点		評価指標		ストラクチャー	プロセス	アウトカム
5-22-1 -①	卒業後に、卒業生に学校の施設、設備を提供したり、キャリアアップについての相談に応じ、適切なアドバイスを与える等のきめ細かな対応は、学校と学生の間信頼関係を築くためにも重要なことであり、組織的な対応が望まれる。	<input type="checkbox"/>	卒業生に施設、設備を提供している。			
		<input type="checkbox"/>	再就職、キャリアアップ等について卒後の相談に適切に対応している。			
	同窓会を組織し支援することは、同じ学校の卒業生としての一体感を維持することに役立つ。その一体感は無形の力となって、様々な面で学校の社会的地位の向上に繋がる。	<input type="checkbox"/>	同窓会を組織し、活動状況を把握している。			

5-22-2 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備している

評価の観点		評価指標		ス	ブ	ア
5-22-2 -①	社会人経験者の状況に沿った修学支援、学習支援が求められている。入学前の履修に関する取扱いを学則等に定め適切に認定することや、学生の状況に応じて公的支援制度を含めた経済的支援制度の活用も検討している。	<input type="checkbox"/>	社会人経験者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則等に定め、適切に認定している。			
		<input type="checkbox"/>	社会人経験者に配慮し、公的支援制度も含めた経済的支援制度を活用している。			
	就職等の進路相談においても一般学生とは異なった状況もあり、個別の就職相談を実施するなど配慮している。	<input type="checkbox"/>	社会人経験者に対し、就職等進路相談において個別相談を実施している。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	学則、入学前の履修に関する規程、他の専修学校及び専修学校以外の教育施設等における学修に関する規程
<input type="checkbox"/>	資料	同窓会紙等の刊行物（同窓会に関する規約、その他活動状況が把握できる資料等）
<input type="checkbox"/>	資料	卒業生に対するフォローサービス等を記した印刷物など

領域6 教育環境

0.0

中項目【6-23】 施設・設備等

0.0

6-23-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備している

0.0

ストラクチャー	プロセス	アウトカム
---------	------	-------

評価の観点		評価指標	
6-23-1-①	学校の施設・設備等は関連法令等の基準を遵守し、教育上の必要性に充分対応している。また、学生が安全に快適に学習に専念できるよう施設・設備等のバリアフリー化を図ることが望ましい。  施設・設備等は日常的な管理に加え、老朽化などに備えて適切なメンテナンス体制を整備している。  施設、整備などは更新・改修計画を策定し、計画に基づいて適切な時期に改築・改修・更新を行っている。	<input type="checkbox"/> 施設・設備・機器類などは設置基準、関係法令に適合しかつ、充実している。	
		<input type="checkbox"/> 図書室、実習室など、学生の学習支援のための施設を整備している。	
		<input type="checkbox"/> 図書室の図書は専門分野に応じ充実している。	
		<input type="checkbox"/> 学生の休憩・食事のためのスペースを確保している。	
		<input type="checkbox"/> 施設・設備のバリアフリー化に取り組んでいる。	
		<input type="checkbox"/> 手洗い設備等学校施設内の衛生管理を徹底している。	
		<input type="checkbox"/> 施設・設備等の日常点検、定期点検、補修などについて適切に対応している。	
	<input type="checkbox"/> 施設の改善・改修、設備の更新の計画を策定し、適切に実施している。		

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	各施設・設備（附帯設備含む）の状況（部屋数・机・パソコン等）（施設に関しては指定様式）
<input type="checkbox"/>	資料	施設利用状況・利用計画、利用内規等
<input type="checkbox"/>	資料	メンテナンス契約書・整備計画書等
<input type="checkbox"/>	資料	施設管理・運用についての職員配置状況資料（施設・設備の管理部署、役割分担、委託状況）
<input type="checkbox"/>	資料	施設・設備の改築・改修・更新計画と実施状況

領域6 教育環境

中項目【6-24】 防災・安全管理

0.0

6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用している

評価の観点		評価指標		ストラクチャー	プロセス	アウトカム
6-24-1-① 大規模な災害に備え、学校は学生及び教職員の安全を第一に考え、防災に対応する責任者を指定し、各種防災訓練を実施している。 災害時などの行動・対処に関し、学生へ明確に指示をする必要があるため、マニュアルを定め、様々な面からの防災体制を整備している。	<input type="checkbox"/>	学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的な行動のマニュアルを整備している。				
	<input type="checkbox"/>	施設・設備の耐震化に対応している。				
	<input type="checkbox"/>	消防設備等の整備及び保守点検は法令に基づき行い、改善が必要な場合は適切に対応している。				
	<input type="checkbox"/>	防災（消防）訓練を定期的に行い、記録を保管している。				
	<input type="checkbox"/>	備品の転倒防止など安全管理を徹底している。				
	<input type="checkbox"/>	教職員・学生に防災研修・教育を行っている。				

6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用している

評価の観点		評価指標		ス	プ	ア
6-24-2-① 安全管理を適切に行うとともに、学生の生命と学校財産を守るための防犯体制を整備するなど学校の安全対策を講じている。 特に授業中に発生した事故等への対応については、マニュアルを策定して、教職員はもとより学生に対しても周知徹底している。	<input type="checkbox"/>	学校安全計画を策定している。				
	<input type="checkbox"/>	学生の生命と学校財産を守るための防犯体制を整備し、適切に運用している。				
	<input type="checkbox"/>	授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成し、適切に運用している。				
	<input type="checkbox"/>	安全管理において、定期的にチェックを行うなど適切に対応している。				
6-24-2-② 海外研修時等の災害及び事故については、対処方法を適切に定め、教職員や学生に対して周知徹底している。また、万が一、事故が起こってしまった場合に備えて、保険加入等の適切な処置を講じている。	<input type="checkbox"/>	担当教員の明確化など、海外研修時等の安全管理体制を整備している。				

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	学校安全保健計画、消防計画（査察記録、指導記録）、災害時の対応マニュアル（教職員の役割分担等）
<input type="checkbox"/>	資料	防災・防犯体制チェック結果、危険物等の安全管理状況（台帳、安全管理チェック表等）
<input type="checkbox"/>	資料	消防など安全管理設備一覧、保守点検委託契約書、点検結果、改善報告
<input type="checkbox"/>	資料	学外実習等の安全管理体制、保険加入を示す書類
<input type="checkbox"/>	資料	防災訓練実施要領、実施記録・結果、防災教育の実施結果
<input type="checkbox"/>	資料	防災体制における保護者対応についての書類

領域7 学生の募集と受け入れ

0.0

ストラクチャ  
プロセス  
アウトカム

中項目【7-25】 学生募集活動

0.0

7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいる

評価の観点		評価指標				
7-25-1 -①	学生募集において、接続する教育機関である高等学校等へ、教育内容・方法等教育活動の情報提供を積極的に行う必要がある。 具体的には、高等学校等が主催する進学説明会に積極的に参加したり、教員向けに教育活動等を説明する機会を持つことにより、学修成果も含め詳細な説明を行うことができる。	<input type="checkbox"/>	高等学校等における進学説明会に参加し、教育活動等の情報提供を行っている。			
		<input type="checkbox"/>	高等学校等の教職員に対して、教育活動等を説明する機会を設けている。			
		<input type="checkbox"/>	高等学校等の教員又は保護者向けの学校案内などを作成している。			

7-25-2 学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っている

評価の観点		評価指標		ス	ブ	ア
7-25-2 -①	出願受付開始時期は、入学時期に照らして適切な時期から実施している。 また、志願者からの問い合わせに対して担当者を定めて、適切に対応している。	<input type="checkbox"/>	入学時期に照らし、適切な時期に願書の受付を開始している。			
		<input type="checkbox"/>	志願者等からの入学相談に適切に対応している。			
7-25-2 -②	募集広報は、事実を正確にわかりやすく伝えるものになっている。 就職実績、資格取得実績などの学修成果の掲載内容について、学内チェック体制を整備している。	<input type="checkbox"/>	学校案内などにおいて特徴ある教育活動、学修成果等について正確にわかりやすく紹介している。			
		<input type="checkbox"/>	広報活動・学生募集活動において、情報管理等のチェック体制を整備している。			
7-25-2 -③	教育活動の内容を直接紹介する機会である、「オープンキャンパス」「体験入学」等を活用している。また、教育活動の特徴について詳細に情報提供ができるよう、模擬授業等、実施内容を工夫している。  志願者の状況に応じて多様な試験・選考方法を取り入れている。	<input type="checkbox"/>	体験入学、オープンキャンパス等の実施において、多くの参加機会の提供や実施内容の工夫などを行っている。			
		<input type="checkbox"/>	志望者の状況に応じて多様な試験・選考方法を取り入れている。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	学生募集活動に係る学校案内等の印刷物
<input type="checkbox"/>	資料	教育活動、学校運営、学生生活など志望者にとって必要な情報提供を示す資料（学校説明会等の資料）
<input type="checkbox"/>	資料	配布物などに表示されているデータが正確であることを示す関連するデータ
<input type="checkbox"/>	資料	入学相談、相談受付票、相談体制・役割分担、相談実績が確認できる資料など

領域7 学生の募集と受け入れ

中項目【7-26】 入学選考

0.0

ストラクチャー	プロセス	アウトカム
---------	------	-------

7-26-1 入学選考基準を明確にし、適切に運用している

評価の観点		評価指標		ス	プ	ア
7-26-1 -①	入学選考にあたっては、入学選考基準・方法を規程等で明確に定め、募集要項に記載し、適切に運用している。	<input type="checkbox"/>	入学選考基準、方法は、規程等で明確に定め、適切に運用している。			
		<input type="checkbox"/>	入学選考の公平性を確保するための合否判定体制を整備している。			

7-26-2 入学選考に関する実態を把握し、授業改善等に活用している

評価の観点		評価指標		ス	プ	ア
7-26-2 -①	入学選考に関する実績等の情報は、正確に把握・記録し、検証の対象となる資料として保存している。また、入学者の傾向を十分把握し、授業方法の改善等に活用している。 財務計画等の策定の基礎数値である、応募者数、合格者数、入学者数の予測数値を算出し、それらの整合性を図っている。	<input type="checkbox"/>	合格率・辞退率などの現況を示すデータを蓄積し、適切に管理している。			
		<input type="checkbox"/>	入学者の傾向について把握し、授業方法の検討など適切に対応している。			
		<input type="checkbox"/>	応募者数・入学者数の予測数値を算出している。			
		<input type="checkbox"/>	財務等の計画数値と応募者数の予測値などとの整合性を図っている。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	学則、入試規程（選考基準が確認できる資料、入試の実施体制がわかる資料など）募集要項・入試要項
<input type="checkbox"/>	資料	入学の決定に係る経過がわかる資料（判定会議資料、台帳等）
<input type="checkbox"/>	資料	入学者データ推移（入試区分別入学者数の推移）、合格率・辞退率推移データ

中項目【7-27】 学納金

0.0

7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定している

評価の観点		評価指標		ス	プ	ア
7-27-1 -①	入学金、授業料、実習費等の学納金は、教育内容、必要経費を基本に算定している。保護者、学生の経済的状況からくる負担感に対応し、総合的に見て妥当な水準としている。また、入学に際し、徴収する金額、入学後に徴収する金額全ての金額を募集要項等に明示している。	<input type="checkbox"/>	学納金の算定内容、決定の過程を明確にしている。			
		<input type="checkbox"/>	学納金の水準を把握している。			
		<input type="checkbox"/>	学納金等徴収する金額は、すべて明示している。			

7-27-2 入学辞退者に対し授業料等について適正な取り扱いを行っている

評価の観点		評価指標		ス	プ	ア
7-27-2 -①	入学辞退者に対する授業料、施設設備費等についての取り扱いは、平成18年度文部科学省通知の趣旨に沿って適正に処理されている。	<input type="checkbox"/>	文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取り扱いに対して募集要項などに明示し、適正に取り扱っている。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	募集要項、学納金全体が記載されている印刷物
<input type="checkbox"/>	資料	学納金の算定基礎、学納金の決定過程（理事会など）が確認できる資料
<input type="checkbox"/>	資料	学納金推移データ、学納金の水準が他校などに比べどの程度が調査した資料

領域8 財務

0.0

中項目【8-28】 財務基盤

0.0

8-28-1 学校運営の中長期的な財務基盤は安定している

評価の観点		評価指標		ストラクチャー	プロセス	アウトカム
8-28-1-①	財政基盤を安定させるために、中長期的に、定員の入学者を確保するための計画、戦略を立てている。	<input type="checkbox"/>	応募者数・入学者数および定員充足率の推移を把握している。			
8-28-1-②	看護教育の維持向上には、経済的基盤が欠かせないため、中長期的に、安定的に学校を運営していくための資産・資金が必要である。学生の教育にかかる費用、教員の教育的資質向上のための必要経費、学習・教育環境の整備費等、常に十分な財源を確保することが望ましい。	<input type="checkbox"/>	学校経営における財源の確保について、支部、設置医療施設、看護学校の三者で協議し、運営会議等で整備している。			
		<input type="checkbox"/>	財源の用途について、教職員が効果的な運用を検討している。			
		<input type="checkbox"/>	学生納付金収益、補助金（国・県・市・その他）、救護看護師養成経費（本社・支部・設置医療施設）等の財源を活用している。			

8-28-2 学校運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っている

評価の観点		評価指標		ス	ブ	ア
8-28-2-①	設置医療施設の経営状況及び学校運営に関する経済的影響を理解し、学校経営及び教育の実施に関わる経費について定期的に評価し、今後の方向性を示している。	<input type="checkbox"/>	収支の状況について、定期的に把握している。			
		<input type="checkbox"/>	コスト管理を適切に行っている。			
		<input type="checkbox"/>	教育研究費比率、人件費比率は、適切な数値になっている。			
		<input type="checkbox"/>	改善が必要な場合において、今後の財務改善計画を策定している。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	学校の財務状況に関する文書
<input type="checkbox"/>	資料	学校運営会議資料
<input type="checkbox"/>	資料	日本赤十字社 事業局 看護部 赤十字看護・助産教育資料

領域8 財務

中項目【8-29】 予算・収支計画

0.0

ストラクチャー	プロセス	アウトカム
---------	------	-------

8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定している

評価の観点		評価指標		ス	プ	ア
8-29-1-①	教育目標に鑑み、中期計画を策定し、それを達成するための学生の教育に関わる費用、教員の教育的資質向上のための経費、学習・教育環境の設備費等の年間の予算書を立案している。	<input type="checkbox"/>	予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図っている。			
		<input type="checkbox"/>	教師会議、学校運営会議で年間の学校運営に関する予算案を立案、検討している。			

8-29-2 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っている

評価の観点		評価指標		ス	プ	ア
8-29-2-①	予算は、計画に従って執行している。年度中に予算超過が見込まれる場合は、適切に補正措置を行っている。	<input type="checkbox"/>	予算の執行計画を策定している。			
		<input type="checkbox"/>	予算と決算に大きな乖離を生じていない。			
		<input type="checkbox"/>	予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っている。			
8-29-2-②	予算編成及び執行は、規程等を定め、適切に運用している。	<input type="checkbox"/>	設置医療施設の予算規程、経理規程に沿って運用している。			
		<input type="checkbox"/>	予算執行にあたってチェック体制を整備するなど、適切な会計処理を行っている。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	学校の財務状況に関する文書
<input type="checkbox"/>	資料	学校運営会議資料
<input type="checkbox"/>	資料	教師会議資料

領域8 財務

中項目【8-30】 監査

0.0

8-30-1 財務について適切に会計監査を実施している

評価の観点		評価指標		ストラクチャー	プロセス	アウトカム
8-30-1-①	学校の財務について、妥当性・適正性監査を中心に、設置医療施設において会計監査人の監査を受けている。監査結果で改善が必要であると指摘された事項に対しては、適切に対応している。	<input type="checkbox"/>	会計監査について明文化されている。			
		<input type="checkbox"/>	会計監査人により、会計監査報告がなされている。			
		<input type="checkbox"/>	監査時における改善意見について記録し、適切に対応している。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	学校の財務状況に関する文書
<input type="checkbox"/>	資料	設置医療施設の決算書
<input type="checkbox"/>	資料	会計報告書
<input type="checkbox"/>	資料	会計監査報告書

中項目【8-31】 財務情報の公開

0.0

8-31-1 財務情報公開の体制を整備し、適切に運用している

評価の観点		評価指標		ス	ブ	ア
8-31-1-①	公共性の高い学校としての説明責任を果たし、関係者の理解と協力を一層得られるようにしていく観点から、財務情報について請求を求められた場合に対応できるようになっている。	<input type="checkbox"/>	財務情報について、在学生その他の利害関係人から請求があった場合、閲覧に供する書類が整っている。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	学校の財務状況に関する文書
<input type="checkbox"/>	資料	学校運営会議資料
<input type="checkbox"/>	資料	設置医療施設の外部情報公開規程

領域9 法令等の遵守

0.0

ストラクチャー  
プロセス  
アウトカム

中項目【9-32】 関係法令、設置基準等の遵守

0.0

9-32-1 法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っている

評価の観点		評価指標			
9-32-1 -①	学校は、広く社会の信頼を得るため、関係法令や設置基準を遵守している。さらに遵守することへの方針・姿勢を教職員や学生に対して周知徹底を図ることが必要であり、そのための啓発教育を実施している。	<input type="checkbox"/>	関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を行うと共に、必要な諸届等を適切に行っている。		
		<input type="checkbox"/>	学校運営に必要な規則・規程等を整備し、適切に運用している。		
		<input type="checkbox"/>	ハラスメントの防止のための方針を明確化し、対応マニュアルを策定して適切に運用している。		
		<input type="checkbox"/>	教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する相談窓口を設置している。 **		
		<input type="checkbox"/>	教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する研修・教育を行っている。		

\*\*コンプライアンスとは、法令遵守にととまらず、社内規定・マニュアル・企業倫理・社会貢献の遵守等も含まれる。

コンプライアンスに関する相談窓口とは、「本学において、発生または発生の恐れのある法令違反行為または倫理に反する行為に係る相談」や「本学において、当該行為が法令違反かどうか、あるいは倫理に反するかどうかについての相談」の窓口を指す。

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	学則、各種規則、規程
<input type="checkbox"/>	資料	監督、所轄庁への認可・届出書一式
<input type="checkbox"/>	資料	都道府県支部評議員会議事録、会議議事録
<input type="checkbox"/>	資料	学校の現況（施設設備等、教員一覧、設置基準を満たしているか）
<input type="checkbox"/>	資料	法令設置基準の遵守体制を示す書類（コンプライアンス規程、ポリシー等）

中項目【9-33】 個人情報保護

0.0

9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施している

評価の観点		評価指標			
9-33-1 -①	学校は、志願者、学生や卒業生及び教職員等について保有する個人情報について、個人情報保護法並びに設置医療施設の個人情報保護に関する規定等に則って適切に処理している。	<input type="checkbox"/>	個人情報保護に関する取扱い方針・規定を定め、適切に運用している。		
9-33-1 -②	大量の個人データを蓄積する電磁的記録の取り扱いにおいて、漏えいや紛失等の事故が発生した場合や、個人情報ソーシャルメディア上に漏えいする事態が発生した場合、本人の不利益ばかりでなく学校にとっても信用を失う等多大な損失になることから、十分なセキュリティ対策を講じている。	<input type="checkbox"/>	大量の個人データを蓄積した電磁記録の取り扱いに関して、規定を定め、適切に運用している。		
		<input type="checkbox"/>	ソーシャルメディアの適正利用に関する規定を定め、適切に運用する。		
9-33-1 -③	学校が開設したサイトの利用にあたって生じる、個人情報盗み見られる等の特有の事故に対して、学校としてサイトポリシーを定め、学内外に周知する等万全な対策を講じている。	<input type="checkbox"/>	学校が開設したサイトの運用にあたって、情報漏洩等の防止策を講じている。		
9-33-1 -④	学校は、個人情報保護の方針と対策を整備し、教職員や学生に対して研修等により、周知徹底と意識啓発を行っている。	<input type="checkbox"/>	教職員・学生に対して、ソーシャルメディアの適正利用や個人情報管理に関する啓発及び教育を実施している。		

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	個人情報保護方針、個人情報保護規定及び運用状況を確認できる資料
<input type="checkbox"/>	資料	セキュリティポリシー サイトポリシーなどの規程類
<input type="checkbox"/>	資料	学生、教職員への普及・啓発教育の実態・実際を確認できる資料

領域9 法令等の遵守

中項目【9-34】 学校評価

0.0

ストラクチャー  
プロセス  
アウトカム

9-34-1 自己評価の実施と問題点の改善に努めている

評価の観点		評価指標		ストラクチャー	プロセス	アウトカム
9-34-1-①	学校運営活動全体について自己点検・自己評価を行うために実施体制を整備し、毎年度、時期を定め、点検・評価を行っている。	<input type="checkbox"/>	実施に関し、規程等を整備し実施している。			
		<input type="checkbox"/>	実施にかかる組織体制を整備し、毎年度定期的に取り組んでいる。			
9-34-1-②	評価結果に基づき、諸活動の改革・改善に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>	評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいる。			

9-34-2 自己評価結果を公開している

評価の観点		評価指標		ス	ブ	ア
9-34-2-①	自己点検・自己評価の結果は報告書にまとめ、評価結果としてホームページに掲載する等広く社会に公表している。	<input type="checkbox"/>	評価結果を報告書にまとめている。			
		<input type="checkbox"/>	評価結果をホームページに掲載する等、広く社会に公表している。			

9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っている

評価の観点		評価指標		ス	ブ	ア
9-34-3-①	自己評価の結果に基づき関連業界等関係者・保護者・有識者等により組織した「学校関係者評価委員会」による評価の実施に努めている。	<input type="checkbox"/>	実施に関し、規程等を整備し実施している。			
		<input type="checkbox"/>	実施のための組織体制を整備している。			
		<input type="checkbox"/>	設置課程・学科の関連業界等から委員を適切に選任している。			
9-34-3-②	評価結果に基づき、諸活動の改革・改善に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>	評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいる。			

9-34-4 学校関係者評価を公表している

評価の観点		評価指標		ス	ブ	ア
9-34-4-①	学校関係者評価の結果は報告書にまとめ、評価結果としてホームページに掲載する等広く社会に公表することが望ましい。	<input type="checkbox"/>	評価結果を報告書に取りまとめている。			
		<input type="checkbox"/>	評価結果をホームページに掲載する等、広く社会に公表している。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	学則
<input type="checkbox"/>	資料	学校評価規程、実施要項
<input type="checkbox"/>	資料	学校評価実施体制、評価スケジュール表、評価項目、会議議事録
<input type="checkbox"/>	資料	自己評価報告書
<input type="checkbox"/>	資料	学校関係者評価体制、評価委員構成、学校関係者評価報告書
<input type="checkbox"/>	資料	結果公表資料

領域9 法令等の遵守

中項目【9-35】 教育情報の公開

0.0

9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っている

評価の観点		評価指標		ストラクチャチャイ	プロセス	アウトカム
9-35-1 -①	専修学校の教育活動等に関する情報公開については、平成19年の学校教育法の改正により、専修学校自ら積極的に情報提供を行うことが義務付けられている。	<input type="checkbox"/>	学校の概要、教育内容、教職員等の教育情報を、積極的に公表している。			
	学生や保護者が適切に情報を得ることができ、また情報提供を通じて教育活動等の質向上が図られ、専修学校の社会的評価の確立につながるものと期待されていることから、積極的な情報公表が望ましい。	<input type="checkbox"/>	学校の概要、教育内容、教職員等の教育情報を、学生・保護者・関連業界等、広く社会に公開している。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	学校案内
<input type="checkbox"/>	資料	学校ホームページ、学校通信 等

領域10 社会貢献・地域貢献

0.0	ストラクチャチャイ	プロセス	アウトカム
0.0			

中項目【10-36】 社会貢献・地域貢献

10-36-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っている。

評価の観点		評価指標	
10-36-1-①	学校は、設置されている地域社会の住民や団体、保健・医療・福祉施設等のニーズに応える一方、地域社会の人的・物的資源を活用する等、相互の関わりを通じて双方が発展していくという考えをもち、地域との連携を図っている。	<input type="checkbox"/> 地域との連携に関する方針等を、明確にしている。	
		<input type="checkbox"/> 社会との連携に向けて、地域のニーズを把握している。	
10-36-1-②	学校は、出張講義やオープンスクール等、地域住民に対して健康・看護についての啓発・普及活動をしている。また、看護学校進学希望者への進路相談等、地域社会のニーズに対応している。  学校の施設設備を卒業生や関連業界等に開放し、看護職の発展に寄与している。	<input type="checkbox"/> 学校から地域社会へ、教員の派遣や看護教育に関する活動を行っている。	
		<input type="checkbox"/> 学校施設・設備等を関連業界・卒業生等に開放している。	
10-36-1-③	社会環境に関する問題の解決に、問題意識をもって学生も参加して積極的に取り組むよう働きかけている。また、学生・教職員に対して、重要な社会問題に対する問題意識の醸成を図るための研修・教育に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/> 環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っている。	
		<input type="checkbox"/> 教職員・学生に対し、重要な社会問題に対する問題意識の醸成のための研修・教育に取り組んでいる。	

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	地域住民や施設と連携し、健康や看護について啓発・普及活動になるような公開講座などの活動状況、地域の諸活動への参加・支援状況の実績を示す資料
<input type="checkbox"/>	資料	施設開放規則、対象別実績
<input type="checkbox"/>	資料	看護学実習やフィールド研究における施設提携・地域社会との連携状況
<input type="checkbox"/>	資料	地域社会における資源をどのように活用していくかを示す資料
<input type="checkbox"/>	資料	社会問題に対する案内制作物など、社会問題に関する具体的な取り組み

領域10 社会貢献・地域貢献

0.0	ストラクチャチャイ	プロセス	アウトカム

中項目【10-37】 ボランティア活動

10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っている

評価の観点		評価指標	
10-37-1-①	ボランティア活動は、学生が赤十字活動を理解し、赤十字の基本原則を考える良い機会となる。地域や身近でできる活動への参加や支部・病院・血液センター等における赤十字活動や行事、災害救護訓練などにボランティアとして参加することを奨励している。	<input type="checkbox"/> ボランティア活動への参加を、学校として積極的に奨励している。	
		<input type="checkbox"/> ボランティア活動に対して、組織的な支援体制を整備している。	
10-37-1-②	地域や支部・病院・血液センター等におけるボランティア活動は、学校として常に把握しておき、その成果は、適切に評価し、他の学生等学内で共有している。	<input type="checkbox"/> ボランティアの活動実績を把握している。	
		<input type="checkbox"/> ボランティアの活動実績を評価している。	
		<input type="checkbox"/> ボランティアの活動結果を学内で共有している。	

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	ボランティア活動に対する学校の方針、ボランティア活動に関する規程、取扱い要項
<input type="checkbox"/>	資料	ボランティア推進体制、受付窓口、保険等の手続き
<input type="checkbox"/>	資料	学生に向けたボランティア実施案内、申し込み受付
<input type="checkbox"/>	資料	ボランティア活動の実施状況

領域 1 1 国際交流

0.0	ストラクチャー	プロセス	アウトカム
0.0			

中項目【1 1ー3 8】 国際交流

11-38-1 国際的視野を広げるための教育体制が整備されている

評価の観点		評価指標				
11-38-1 -①	赤十字看護専門学校の学生は、将来、赤十字看護師として国際活動に参加する機会があるため、国際的視野を広げるための教育は必須である。そのため、異文化理解を目的とした講義や異文化に触れる活動等を行う機会を設けている。  また、外国の文献が所蔵され、インターネットの活用が容易であること、国際救護活動についての講演等が聴講できる等、自己学習に適した環境を整備している。	<input type="checkbox"/>	教育課程において、国際的視野を広げる方針を示している。			
		<input type="checkbox"/>	国際的視野を広げるための、授業科目を設定や異文化に触れる活動等を行っている。			
		<input type="checkbox"/>	国際的視野を広げるための、自己学習に適した環境を整えている。			

11-38-2 海外での学習や就労を希望する者への支援体制が整備されている

評価の観点		評価指標				
11-38-2 -①	海外での学習（勉学）や就労を希望する学生に対して、適切な情報を提供する体制を整えたり、英文での卒業関係書類や単位認定書類を発行する等の体制を整えている。	<input type="checkbox"/>	海外での学習や就労を希望する学生に対応できる体制を整えている。			

【参照資料】

<input type="checkbox"/>	資料	教育課程において国際的視野を広げる考え方を記述した文書
<input type="checkbox"/>	資料	国際的視野を広げることのできる授業科目、教育プログラム
<input type="checkbox"/>	資料	国際交流を可能とする情報システムの設置と活用状況
<input type="checkbox"/>	資料	英文での卒業関係書類